

コース名	ヒューマンエラー・ポカミス対策講座 不良・手直し、事故を未然に防ぐ仕組みづくり				
研修のねらい	ヒューマンエラーやポカミスは、製品・サービスの品質低下や手戻りを発生させ、生産性低下を招くだけではなく、時には重大な事故に繋がることもあります。安全で高効率な職場環境を整えるためには、ヒューマンエラーを抑制する仕組みづくりが必要不可欠です。 本研修では、ヒューマンエラーやポカミスが発生する要因を理解し、その対策と生産性向上を両立する方法を学びます。また、実際に自社の課題を抽出し、職場を改善するためのアクションプランを検討します。				
研修の特長	・組織全体でヒューマンエラー対策に取り組む方法を学びます。 ・ポカミスを防ぎながら効率を上げる作業の改善方法を学びます。 ・自社のヒューマンエラー・ポカミス対策のアクションプランを検討します。 ◆本コースでの学習と併せて、下記コースをご活用ください。 ・「No.45 はじめて学ぶ！生産現場の問題解決講座」2025年7月23日（水曜）～ 7月25日（金曜）〈3日間〉 ・「No.46 改善ポイントが見える品質管理講座」2025年9月2日（火曜）～ 9月4日（木曜）〈3日間〉 ・「No.47 利益に直結！短納期化の進め方」2025年10月15日（水曜）～ 10月17日（金曜）〈3日間〉				
研修期間	2026年1月19日（月曜）～ 1月21日（水曜） 〈3日間〉				
対象者	管理者、新任管理者（製造業） ・ヒューマンエラーの発生にお悩みの方 ・ヒューマンエラー対策を検討している方	定員	20 名	受講料	32,000 円

日付	時間	科目	内容	講師
1/19 (月)	9時20分～9時40分	オリエンテーション		中小企業大学校担当職員
	9時40分～12時20分	ヒューマンエラーの要因と会社に及ぼす影響	ヒューマンエラーの発生要因を理解した上で、ヒューマンエラーが会社に及ぼす影響を確認します。 ・ヒューマンエラーとは ・ヒューマンエラーを引き起こす4つの要因（人的要因、作業的要因、設備・システムの不備、管理面での不備） ・ヒューマンエラーが会社に及ぼす影響	
	13時20分～17時40分	組織で取り組むヒューマンエラー対策	人的要因から発生するヒューマンエラーの原因を追求し、ヒューマンエラーを発生させない組織風土の構築を考えます。 ・ヒューマンエラーが起こる人的要因 ・ヒューマンエラーをなくす組織行動 ・自社の組織活動の現状を明らかにする【演習】 ・ヒューマンエラーをなくす組織活動を考える【演習】	
1/20 (火)	9時20分～14時20分 (昼休 12時20分～13時20分)	ポカミスの発生原因を学ぶ	作業的要因から発生するヒューマンエラー（いわゆるポカミス）がなぜ発生するのか、また、ポカミスが会社に与える影響を考えます。 ・なぜポカミスは発生するのか？ ・ポカミスが与える影響 ・ポカミスが発生しやすいシチュエーションを学ぶ ・ポカミスの事例研究	坂田 卓也 合同会社サカタ経営 代表社員
	14時20分～17時20分	作業を改善して効率を上げながらポカミスを防ぐ	ポカミスの発生状況を理解した上で、作業面での対策を考えます。また、ポカミス対策が生産性の向上につながることを学びます。 ・ムダ、ムリ、ムラの違い ・ムダ取りと生産性向上【演習】 ・生産性向上とポカミス削減の両立 ・自社が行うポカミス対策の相互紹介【演習】	
1/21 (水)	9時20分～12時20分	その他のヒューマンエラー＆ポカミス対策	人的要因、作業的要因以外のヒューマンエラー対策を学びます。 ・設備・システム的な対策【事例、演習】 ・管理的な要因対策	
	13時20分～17時20分	自社のヒューマンエラー＆ポカミス対策の検討【演習】	研修での学びを踏まえて、自社のヒューマンエラー対策を検討します。 ・職場の問題点の洗い出し ・自社での課題の抽出 ・ヒューマンエラー＆ポカミス対策のアクションプラン作成	
	17時20分～17時30分	修了証書の授与		中小企業大学校担当職員

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

講師氏名	略歴
坂田 卓也 (さかた たくや) 合同会社サカタ経営 代表社員	大日本印刷株式会社の生産総合研究所やエリーパワー株式会社の生産技術部を経て、経営コンサルタントとして独立し、現在の合同会社サカタ経営を設立。経営工学（IE）を活用した生産性の改善、品質管理（QC）や品質改善、新工場計画、生産ラインの自動化などの支援を行っている。支援実績は印刷関連、金属加工、食品加工、繊維と多岐にわたる業界の実績がある。中小企業診断士、技術士（機械部門）、エネルギー管理士（熱部門）、第3種電気主任技術者等を保有。